

【素案からの変更箇所一覧】箕面市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

書類種別	頁	種別	行番号等	変更内容
本編	1			表紙 フォント種類・サイズ変更。「令和8年(2026年)3月 箕面市」を追加
本編	3			一枚絵説明文を下に移動。文章を以下のとおり修正 「下のイラストは、省エネや再エネの導入、みどりの保全、資源循環、気候変動への対策など、様々な取組を進め、カーボンニュートラルを達成した未来の箕面市の姿です。」 →「このイラストは、省エネや再エネの導入、みどりの保全、資源循環、気候変動への対策など、様々な取組を進め、カーボンニュートラルを達成した未来の箕面市の姿をイメージしたものです。」
本編	4	その他		コラムの目次の修正（エラー！スイッチの指定が正しくありません。→市の取組 健全なみどりの育成）
本編	5			目次「子ども達にきいてみよう！」→「子ども たち にきいてみよう！」 以下、「子ども達」を全て、「子どもたち」または「子ども」に修正しています。
本編	11	本文	16	「(2021年)」→「(2021年)」(半角括弧に修正)
本編	11	本文	18	「(2030年)」→「(2030年)」(半角括弧に修正)
本編	13	図	1-4	時間軸の開始を、明治31年(1898年)から明治37年(1904年)に変更
本編	17	本文	2	「『2030年大阪府環境総合計画』を策定しました。」 →「『2030大阪府環境総合計画』を策定し、令和8年(2026年)に改定しました。」
本編	17	本文	5	「大阪・関西万博を契機とした国際的影響力の発揮など、各主体の取組が世界及び未来へ波及し、持続可能な社会を構築」を追加
本編	17	図	1-9	図と出典を修正
本編	17	本文	7	「令和8年(2026年)に改定しました。その中で、」を追記。
本編	17	本文	9	「令和12年度(2030年度)の府域の温室効果ガス排出量を平成25年度(2013年度)比で40%削減」 →「令和22年度(2040年度)の府域の温室効果ガス排出量を平成25年度(2013年度)比で75%削減」
本編	18	本文	1	「大阪府地球温暖化活動推進センター」→「大阪府地球温暖化 防止 活動推進センター」
本編	19	本文	10	「人口は2028年以降減少することが予測されて見込みとなっています。」を「人口は2028年以降減少する見込みとなっています。」に修正（重複の削除）
本編	20	図	2-3	・図タイトルに「の内訳」を追記 ・廃棄物分野の凡例を修正（ドット柄を削除）
本編	24			中期目標枠内を以下の通り修正 「令和3年度(2021年度)からさらに103.8千t-CO ₂ /年の削減が必要」 →「令和3年度(2021年度)からさらに 107.7 千t-CO ₂ /年の削減が必要」 「令和17年(2035年)温室効果ガス排出量目標234.25千t-CO ₂ /年」 →「令和17年(2035年)温室効果ガス排出量目標234.2千t-CO ₂ /年」
本編	28			「2 市民・事業者・市の役割」のうち、市民の役割の1文目を以下のとおり変更（パブリックコメント意見に対応しました） 変更前「地球温暖化を自身の問題として認識し、脱炭素ライフスタイルへの転換に努めます。」 変更後「地球温暖化を自身の問題として 引き続き 認識し、 これまでの取組を大切にしながら、無理のない範囲で脱炭素ライフスタイルを意識した暮らしを心がけます。 」
本編	31			コラム内の文字の位置を修正（テレビ、エアコン、リユース品の文字の位置を調整）
本編	33		4	「見える化を浸透するため」 → 「見える化を浸透 させる ため」
本編	33	コラム	7	「従来型のガス給湯器」 → 「従来型 電気 温水器」
本編	36	本文	1	「温室効果ガスの排出量を削減するためにはエネルギー消費の削減と同時に、」 →「温室効果ガスの排出量を削減するためには、 エネルギー消費の削減と同時に、 」
本編	41			取組指標2つめの単位(%)を半角から全角に変更
本編	43	コラム	6	「大阪府CO ₂ 森林吸収量認定制度」→「大阪府CO ₂ 森林吸収量・ 木材固定量 認定制度」
本編	43	コラム	7	「森林の整備による二酸化炭素吸収量の認定を受けています。」 →「森林の整備による二酸化炭素吸収量の 認証 を受けています。」
本編	43	コラム		図キャプション「令和7年度(2025年度)の森林整備によるCO ₂ 森林吸収量認定書」 →「令和7年度(2025年度)の森林整備によるCO ₂ 森林吸収量 認証 書」
本編	47	本文	2	「学校ではあらゆる科目の学習の中で環境へのかかわりや重要性についての学びを進めています。」 →「学校ではあらゆる科目の学習の中で、 環境へのかかわりや重要性についての学びを進めています。 」

【素案からの変更箇所一覧】箕面市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

書類種別	頁	種別	行番号等	変更内容
本編	49	本文	6	「市から排出されるごみの量や食品ロスによる問題についての情報発信や市の事務事業におけるペーパーレス推進等により、」 →「市から排出されるごみの量や食品ロスによる問題についての情報発信や、市の事務事業におけるペーパーレス推進等により、」
本編	52			表中、分野7つめ「府民生活・都市生活」→「市民生活・都市生活」 同じく適応策の例、「日射に遮蔽」→「日射の遮蔽」
本編	55	本文	7	「国・県・近隣自治体」→「国・府・近隣自治体」
資料編	6	資図	1-8	凡例「第3次産業」→「第三次産業」
資料編	7	資図	1-9	「田」の耕地面積を表す数値の背景を白色から透過に変更
資料編	8	表	1-3	誤字を修正（パルプ・神・紙加工品製造業→パルプ・紙・紙加工品製造業）
資料編	9	資図	1-12	・「人口」の棒グラフ数値の背景を白色から透過に変更 ・時間軸右端にあった「年度」を削除
資料編	13	資表	2-1	表右上、（単位：t-CO ₂ ）→（単位：千t-CO ₂ ）
資料編	17	資図	2-10	タイトルを1行に抑えた
資料編	22	本文	2	「二酸化炭素排出量」 → 「温室効果ガス排出量」
資料編	22	本文	3	「約408t-CO ₂ 」 → 「約408千t-CO ₂ 」
資料編	22	本文	4	「約395t-CO ₂ 」 → 「約395千t-CO ₂ 」
資料編	23	資表	3-2	表右上、（単位：t-CO ₂ ）→（単位：千t-CO ₂ ）
資料編	23	資表	3-2	表タイトル「現状趨勢（BAU）ケースにおける部門別二酸化炭素排出量の推移」 →「現状趨勢（BAU）ケースにおける部門別温室効果ガス排出量の推移」
資料編	23	資図	3-1	図タイトル「現状趨勢（BAU）ケースにおける二酸化炭素排出量の推移」 →「現状趨勢（BAU）ケースにおける温室効果ガス排出量の推移」
資料編	24	資表	3-3	3つめタイトル「策編見込量」→「削減見込量」
資料編	24	本文	8	括弧（）の整理 「2050年脱炭素社会実現に向けたシナリオに関する一分析」（（令和3年度（2021年度）、国立環境研究所AIM プロジェクトチーム）に示される令和32年（2050年）までの技術や社会変容による削減） ↓ 「2050年脱炭素社会実現に向けたシナリオに関する一分析」（令和3年（2021年）、国立環境研究所AIM プロジェクトチーム）に示される令和32年（2050年）までの技術や社会変容による削減
資料編	24	本文	13	括弧（）の整理 「2050年脱炭素社会実現の姿に関する一試算」（（令和2年度（2020年度）、国立環境研究所AIM プロジェクトチーム）に示されるプラスチックの脱石油化による削減） ↓ 「2050年脱炭素社会実現の姿に関する一試算」（令和2年（2020年）、国立環境研究所AIMプロジェクトチーム）に示されるプラスチックの脱石油化による削減
資料編	25	本文	3	「約149t-CO ₂ 」 → 「約149千t-CO ₂ 」
資料編	25	資図	3-2	図タイトル「削減対策ケースにおける二酸化炭素排出量の推移」 →「削減対策ケースにおける温室効果ガス排出量の推移」
資料編	27	本文	2	「約305t-CO ₂ 」 → 「約305千t-CO ₂ 」
資料編	27	本文	3	「約23t-CO ₂ 」 → 「約23千t-CO ₂ 」
資料編	27	資図	3-4	・縦軸に単位（千t-CO ₂ ）を追加 ・縦軸に100千t-CO ₂ ごとの目盛線を表示 ・図タイトル「再エネ導入ケースにおける二酸化炭素排出量の推移」 →「再エネ導入ケースにおける温室効果ガス排出量の推移」
資料編	31			問1 設問の語尾に句点「。」追記
資料編	54			問1 設問の語尾に句点「。」追記
資料編	62			問10 回答表 「意見無し」 → 「意見なし」
資料編	63			左段「大阪府CO ₂ 森林吸収量・木材固定量認証制度」→用語を一行に圧縮
資料編	63			右段「再エネメニュー」解説文内、「電気会社」→「電力会社」

【素案からの変更箇所一覧】箕面市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

書類種別	頁	種別	行番号等	変更内容
資料編	65			左段「地中熱」解説文内、 「地下（地表から20m～100m程度）」→「地下（地表から20～100m程度）」
概要版	1			「①計画の目的」「②箕面市の現況」の見出し体裁を修正
概要版	1			「④目標達成に向けた取組」の文章を以下のとおり修正 「削減目標達成に向けて以下の基本目標・基本方針をもとに施策を推進していきます」 →「削減目標達成に向けて、以下の基本目標をもとに施策を推進していきます」
やさしい版	1			アンケート結果のまとめ みんなが心配していること 中学2年生 3位 「日本には無かった病気が増えること」→「日本にはな な かった病気が増えること」